

目次

1	はじめに	1
2	研究業績	2
(1)	原著・報告	2
(2)	著書	5
(3)	シンポジウム・セミナー等	5
(4)	学会発表	5
(5)	講演等	9
(6)	その他	10
(7)	受賞	11
3	研究活動	12
(1)	地域看護学教室・高齢者在宅長期ケア看護学教室合同勉強会	12
(2)	研究会	15
(3)	研究プロジェクト	16
(4)	教室内勉強会	17
4	教育活動	21
(1)	学部講義	21
(2)	学部実習	23
(3)	大学院特論	25
(4)	大学院実習	32
(5)	大学院演習	32
(6)	活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム大学院講義	32
(7)	卒業論文	33
(8)	修士論文	33
(9)	博士論文	33
5	学内での活動	34
(1)	看護系教室役割分担	34
(2)	教室内での役割分担	34
6	学会における活動	34
7	社会的活動	35
8	教室日誌	36
9	教室員名簿(2018年度)	37

1 はじめに

地域看護学教室の2018年度年報をお届けいたします。教授（兼担）の山本、成瀬講師、寺本助教、岩崎助教、藤崎特任助教（GLAFS 兼担）の体制で取り組んでまいりました。この年度は博士課程2名、修士課程2名、卒論生2名を送り出すことができました。皆様のご支援のおかげと、心より感謝申し上げます。

修士課程における保健師の免許教育課程も、2018年度で第4期生となりました。地域共生社会の推進が謳われるなかで、保健師が今後どのように活動し、そのための学問をどのように発展してゆくべきか、をしっかりと考える人材を育成したいと念願し、試行を積み重ねてまいりたいと存じます。

ここに纏めました2018年度の活動報告をご高覧いただき、ご助言、ご指導を賜れば幸いです。教室員一同、今後も研究と教育に邁進していく所存です。今後ともご指導ご鞭撻の程、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

2019年4月

東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻
地域看護学分野 教授（兼担）山本則子

2 研究業績

(1) 原著・報告

Chie Teramoto, Tatsuro Ishizaki, Seigo Mitsutake, Haruhisa Fukuda, Takashi Naruse, Sayuri Shimizu, Hideki Ito.

Impact of a national medical fee schedule revision on the cessation of physician home visits among older patients in Tokyo: a retrospective study.

Health & Social Care in the Community, doi: 10.1111/hsc.12707. Epub 2018 Dec 19.

Kazuaki Hirai, Riho Iwasaki.

Trends in research examining violence: An analysis of article titles via text mining.

Journal of Japan Association of Forensic Nursing (日本フォレンジック看護学会誌), 4(2), 27-42, 2018.

Chie Fukui, Mahiro Fujisaki-Sueda-Sakai, Nobutada Yokouchi, Yuka Sumikawa, Fumika Horinuki, Ayako Baba, Makoto Suto, Hiroko Okada, Ryogo Ogino, Hyosook Park, Junichiro Okata.

Needs of persons with dementia and their family caregivers in dementia cafés.

Aging Clinical and Experimental Research, doi: 10.1007/s40520-019-01129-2. Epub 2019 Jan 29.

Yusuke Nakamura, Hiroshige Matsumoto, Noriko Yamamoto-Mitani, Miho Suzuki, Ayumi Igarashi.

Impact of support agreement between municipalities and convenience store chain companies on store staff's support activities for older adults.

Health Policy, 122(12), 1377-1383. doi: 10.1016/j.healthpol.2018.09.015. Epub 2018 Sep 28.

Tomoki Tanaka, Hiroshige Matsumoto, Bo-Kyung Son, Shujirou Imaeda, Emiko Uchiyama, Sakiko Taniguchi, Akiko Nishino, Takahiro Miura, Toshiaki Tanaka, Toshio Otsuki, Kazuhiko Nishide, Katsuya Iijima, Junichiro Okata.

Environmental and physical factors predisposing middle-aged and older Japanese adults to falls and fall-related fractures in the home.

Geriatrics & Gerontology International, 18(9), 1372–1377, 2018.

Seigo Mitsutake, Tatsuro Ishizaki, Chie Teramoto, Sayuri Shimizu, Hideki Ito.

Patterns of multimorbidity among 1.3 million older adults in Japan: Analyzing associations with the co-occurrence of three or more chronic diseases.

Preventing Chronic Disease, 16, DOI: <http://dx.doi.org/10.5888/pcd16.180170>, 2019.

Riho Iwasaki, Kazuaki Hirai, Keisuke Aminaka.

Why don't older persons attend senior salons? Interviews with older persons living in a rural area of Japan.

Japanese Journal of Health and Human Ecology (日本健康学会誌), 2019 (in printing).

Riho Iwasaki, Kazuaki Hirai, Takayuki Kageyama, Tamae Satoh, Hiromi Fukuda, Hiromi Kai, Kiwa Makino, Kathy Magilvy, Sachiyo Murashima.

Supporting Elder Persons in Rural Japanese Communities through Preventive Home Visits by Nursing Students: A Qualitative Descriptive Analysis of Students' Reports.

Public Health Nursing, 2019 (in printing).

Mahiro Fujisaki-Sueda-Sakai, Kyo Takahashi, Yasuyo Yoshizawa, Katsuya Iijima.

Frailty checkup supporters' intentions to participate in human-resource development and training activities.

Journal of Community Health, 2019 (in printing)

Chikako Honda, Takashi Naruse, Rumiko Tsuchiya-Ito, Natsuki Yamamoto, Satoko Nagata.

Home Safety Practices to Prevent Child Injury and its Association with Family and Children's Daily Routines in Japan: A Cross-sectional Study.

Japan Journal of Nursing Science, 2019 (in printing).

Hiroshige Matsumoto, Ayumi Igarashi, Miho Suzuki, Noriko Yamamoto-Mitani.

Association between neighbourhood convenience stores and independent living in older people.

Australian Journal of Ageing, 2019 (in printing).

寺本千恵, 永田智子, 成瀬昂, 横田慎一郎, 山本則子.

救急外来を受診後に帰宅した患者の30日以内の再受診パターン：比較事例研究.

日本看護科学会誌, 38, 336-345, 2018.

横堀花佳, 大河内彩子, 田高悦子, 伊藤絵梨子, 有本梓, 白谷佳恵.

保育所看護師が行う発達上の課題がある子どもと養育者への支援.

日本地域看護学会誌, 21(1), 56-62, 2018.

五十嵐歩，松本博成，鈴木美穂，濱田貴之，青木伸吾，油山敬子，村田聡，鈴木守，安井英人，山本則子。

訪問介護サービスを利用する高齢者のコンビニエンスストア利用の実態：コンビニエンスストアが生活支援の役割を果たしている事例に関する質問紙調査。

老年社会科学，40(3)，283-291，2018。

石崎達郎，光武誠吾，寺本千恵，清水沙友里，井藤英喜。

東京都内に保険証住所地がある在宅医療患者への都外医療機関による訪問診療。

厚生の指標，65(13)，1-7，2018。

光武誠吾，石崎達郎，寺本千恵，土屋瑠見子，清水沙友里，井藤英喜。

大都市圏における在宅医療患者の退院後 30 日以内の再入院に影響する医療施設要因。

日本老年医学会雑誌，55(3)，612-623，2018。

高橋競，田中友規，Unyaporn Suthutvoravut，吉澤裕世，藤崎万裕，飯島勝矢。

栄養（食・口腔機能）・運動・社会参加の包括的フレイルチェックによる高齢者の行動変容に関する質的研究。

日本未病システム学会誌，24(2)，84-87，2018。

今枝秀二郎，孫輔卿，内山瑛美子，田中友規，谷口紗貴子，三好友良，スタッフ
オラヴット・アンヤポーン，馬場絢子，角川由香，松原全宏，大月敏雄，田中敏明，飯島勝矢，大方潤一郎。

入院時ベッドサイドインタビューと自宅訪問調査による大腿骨骨折患者の転倒状況の正確な把握。

日本転倒予防学会誌，5(2)，132，2018。

表志津子，岸恵美子，吉岡幸子，成瀬昂，糸井和佳，望月由紀子，坂本美佐子，土屋文枝，五十嵐千代。

市区町村の公衆衛生看護学実習における技術体験と指導体制，実習終了時の到達度との関連。

保健師教育，3(1)，2019（印刷中）。

吉澤裕世，高橋競，田中友規，藤崎万裕，飯島勝矢。

身体・文化・地域活動の重複実施とフレイルとの関係。

日本公衆衛生雑誌，2019（印刷中）。

(2) 著書

藤崎万裕, 飯島勝矢 (分担執筆) .

強みと弱みからみた 在宅看護過程+総合的機能関連図 (編集 河野あゆみ, 編集協力 草場鉄周) .

東京: 株式会社 医学書院, 2018.

第2章 健康障害別看護過程

【3 老年症候群】

14. フレイル 242-245.

(3) シンポジウム・セミナー等

寺本千恵.

救急外来を受診後に帰宅した患者の30日以内の再受診パターンとその特徴.

東京大学大学院医学系研究科3専攻合同セミナー, 東京都 東京大学医学部3号館S102, 2018年7月18日.

永田智子, 田口敦子, 山内泰子, 後藤悦子, 山内悦子, 松永篤志, 鷺見尚己, 戸村ひかり, 角川由香, 前田明里, 山本なつ紀.

ワークショップ 在宅療養支援を要する患者に外来でどう対応するか—具体的な支援につなげるための取り組み—.

日本地域看護学会第21回学術集会, 岐阜県 長良川国際会議場, 2018年8月11日-12日.

成瀬昂 (シンポジスト) .

シンポジウム 3「今後の保健師のリーダーに必要とされる能力と教育のあり方」

第77回日本公衆衛生学会総会, 福島県 ビッグパレットふくしま, 2018年10月24日-26日.

(4) 学会発表

田中友規, 高橋競, Unyaporn Suthutvoravut, 吉澤裕世, 藤崎万裕, 西本美紗, 秋下雅弘, 飯島勝矢.

地域高齢者の『多剤併用 (Polypharmacy)』はサルコペニア新規発症リスクを高める: 柏スタディー.

第2回日本老年薬学会学術大会, 東京都 都市センターホテル, 2018年5月12日-13日.

吉澤裕世, 田中友規, 高橋競, 藤崎万裕, Suthutvoravut Unyaporn, 飯島勝矢.
ヘルスリテラシーの低下と4年後のフレイル有無との関連—柏スタディより—.
第60回日本老年医学会学術集会, 京都府 国立京都国際会館, 2018年6月14日-16日.

Unyaporn Suthutvoravut, 田中友規, 高橋競, 藤崎万裕, 吉澤裕世, 西本美紗, 秋下雅弘, 飯島勝矢.
地域在住高齢者における食事パターンとサルコペニアとの関連: 柏スタディー.
第60回日本老年医学会学術集会, 京都府 国立京都国際会館, 2018年6月14日-16日.

田中友規, Suthutvoravut Unyaporn, 高橋競, 藤崎万裕, 吉澤裕世, 西本美紗, 秋下雅弘, 飯島勝矢.
市民主導型フレイルチェックの簡易チェックを活用したサルコペニア有症予測—全国マルチデータベースから—.
第60回日本老年医学会学術集会, 京都府 国立京都国際会館, 2018年6月14日-16日.

高橋競, 田中友規, Suthutvoravut Unyaporn, 吉澤裕世, 藤崎万裕, 西本美紗, 飯島勝矢.
フレイルチェック複数回参加者における健康関連セルフエフィカシーの向上.
第60回日本老年医学会学術集会, 京都府 国立京都国際会館, 2018年6月14日-16日.

城内愛, 成瀬昂, 寺本千恵, 岩崎りほ, 山本則子.
精神療養病棟の病棟看護管理者の特性と在院日数の関連. (ポスター)
日本地域看護学会第21回学術集会, 岐阜県 長良川国際会議場, 2018年8月11日-12日.

熊崎裕崇, 成瀬昂, 寺本千恵, 岩崎りほ, 山本則子.
地域包括支援センター職員による個別支援開始までの経緯に関する研究: 事例に基づく検討. (ポスター)
日本地域看護学会第21回学術集会, 岐阜県 長良川国際会議場, 2018年8月11日-12日.

山本なつ紀, 成瀬昂, 藤崎万裕, 山本則子.

訪問看護事業所における「利用者の安全に関わる出来事」の発生実態. (ポスター)
日本地域看護学会第 21 回学術集会, 岐阜県 長良川国際会議場, 2018 年 8 月 11 日-12 日.

内山瑛美子, 孫輔卿, 今枝秀二郎, 田中友規, 松本博成, 森田光治良, 三好友良, スタッヴォラヴット・アンヤポーン, 田中敏明, 飯島勝矢, 松原全宏, 大方潤一郎.

大腿骨近位部骨折による入院患者への聞き取り調査内容の定量的分析に基づいた転倒に関わる環境要因の推定.

第 5 回日本転倒予防学会, 静岡県 アクトシティ浜松, 2018 年 10 月 6 日-7 日.

光武誠吾, 石崎達郎, 寺本千恵, 土屋瑠見子, 山岡拓哉.

75 歳以上を対象とした健康診査受診で受診勧奨基準値以上に該当した者の特性. (ポスター)

第 77 回日本公衆衛生学会総会, 福島県 ビッグパレットふくしま, 2018 年 10 月 24 日-26 日.

影山隆之, 平井和明, 岩崎りほ, 巻野希和, 緒方文子, 篠原彩, 村嶋幸代.

看護学生による予防的家庭訪問実習 (第 6 報) 高齢者の生活機能と健康への関心の追跡.

第 77 回日本公衆衛生学会総会, 福島県 ビッグパレットふくしま, 2018 年 10 月 24 日-26 日.

西本美紗, 田中友規, 高橋競, Suthutvoravut Unyaporn, 藤崎万裕, 吉澤裕世, 飯島勝矢.

オーラルフレイルの地域在住高齢者は食事の満足感や口腔関連 QOL が低い—柏スタディより—.

第 25 回日本未病システム学会学術総会, 東京都 一橋講堂, 2018 年 10 月 27 日-28 日.

Jiang Wu, Yuriki Sakurai, Reina Yoshizaki, Soo In Kang, Akihiko Kamesawa, Koki Nakano, Daisuke Yoshioka, Kazuki Kaneko, Toko Funaki, Chung-Hsien Lin, Shiho Hirose, Kenichiro Ito, Mahiro Fujisaki-Sueda-Sakai, Ikuko Sugawara, Misato Nihei, Takahiro Miura, Kenichiro Yabu, Taketoshi Mori, Tohru Ifukube, Junichiro Okata.

Design Implications and Methodology based on the Potential needs of Seniors for Home Monitoring Systems.

Asian Conference on Design and Digital Engineering 2018, Okinawa Zanpamisaki Royal Hotel, Okinawa, Japan, November 1-3, 2018.

藤崎万裕, 高橋競, 吉澤裕世, 田中友規, Unyaporn Suthutvoravut, 西本美紗, 飯島勝矢.

市民フレイル予防サポーターにおける主観的健康観の向上：縦断研究.

第5回日本サルコペニア・フレイル学会大会, 東京都 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター, 2018年11月10日-11日.

Yuka Sumikawa, Ayako Baba, Chie Fukui, Mari Kimata, Hiroshi Murayama, Ikuko Sugawara.

Decision-making process regarding relocation to a group home for persons with dementia. The Gerontological Society of America (GSA) 2018 Annual Scientific Meeting, John B. Hynes Veterans Memorial Convention Center, Boston, USA, November 14-18, 2018.

Tomoki Tanaka, Kyo Takahashi, Suthutvoravut Unyaporn, Misa Nishimoto, Mahiro Fujisaki, Yasuyo Yoshizawa, Masahiro Akishita, Katsuya Iijima.

Social frailty as a predictor of 5-year disability and mortality in physically non-frail adults. The Gerontological Society of America (GSA) 2018 Annual Scientific Meeting, John B. Hynes Veterans Memorial Convention Center, Boston, USA, November 14-18, 2018.

Chie Teramoto, Takashi Naruse, Noriko Yamamoto-Mitani.

Transitional care for emergency department patients who discharged to home; interview with: emergency department nurses. (ポスター)

The 22nd East Asian Forum of Nursing Scholars: EAFONS. Furama Riverfront, Singapore, January 17-18, 2019.

Haruna Kugai, Ayumi Igarashi, Manami Takaoka, Miho Suzuki, Hiroshige Matsumoto, Shingo Aoki, Masakazu Miyahara, Noriko Yamamoto-Mitani.

Characteristics of Convenience Store Managers Interested in Supporting Community-Dwelling Older Adults.

The 22nd East Asian Forum of Nursing Scholars: EAFONS. Furama Riverfront, Singapore, January 17-18, 2019.

岩崎りほ, 藤崎万裕, 寺本千恵, 成瀬昂.

大学院保健師教育コースにおける農村地域での戦略型地域診断演習（Ⅰ報：概要）.

第7回日本公衆衛生看護学会学術集会，山口県 宇部市渡辺翁記念会館・宇部市文化会館・国際ホテル宇部，2019年1月26日-27日.

次郎丸奈美，角川由香，岩崎りほ，藤崎万裕，寺本千恵，成瀬昂.

大学院保健師教育コースにおける農村地域での戦略的地域診断演習（Ⅱ報：経験）.

第7回日本公衆衛生看護学会学術集会，山口県 宇部市渡辺翁記念会館・宇部市文化会館・国際ホテル宇部，2019年1月26日-27日.

（5） 講演等

本田千可子（講師）.

妊娠期に伝えたい乳児期早期の事故予防.

ネウボラ事業 事故予防研修，東京都 健康プラザかつしか，2018年7月23日.

成瀬昂（講師）.

プレゼンテーションのコツ.

糸島市保健師研修会，福岡県 糸島市役所，2018年7月27日.

岩崎りほ（講師）.

いまあらためて、行政保健師とは～迷いやもがきから一歩抜け出すためのヒント.

西東京市保健師研修，東京都 西東京市役所保健福祉総合センター，2019年2月12日.

成瀬昂（講師）.

デイサービスの機能・効果に関する報告会.

東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会 センター分科会 デイサービス分会，東京都 飯田橋セントラルプラザ，2019年2月15日.

藤崎万裕（講師）。

健康長寿のためのフレイル予防。

東京都豊島区職員向け研修会「フレイル」を学ぶ「フレイル」を活かす～フレイル予防と対策の最前線～，東京都 豊島区庁舎 8 階レクチャールーム，2019 年 3 月 1 日。

成瀬昂（講師）。

プレゼンテーションのコツと分析・統合能力を育成する教育。

産業医科大学産業保健学部看護学科・環境マネジメント学科 FD，福岡県 産業医科大学，2019 年 3 月 2 日。

藤崎万裕（講師）。

フレイルを学んで、地域で活かそう。

東京都豊島区職員向け研修会「フレイル」を学ぶ「フレイル」を活かす～フレイル予防と対策の最前線～，東京都 豊島区庁舎 8 階レクチャールーム，2019 年 3 月 12 日。

成瀬昂（講師）。

公衆衛生看護実践での情報の「分析と統合」の思考過程。

第 28 回 地域保健・医療・福祉活動研究会，岡山県 オルガホール，2019 年 3 月 19 日。

(6) その他

春名めぐみ，成瀬昂，上別府圭子。

特集 アジアの大学を知る 日本の看護研究力を高める

各大学の視察報告 4

香港中文大学 The Chinese University of Hong Kong.

看護研究，51(7)，650-657，2018.

(7) 受賞

田中友規, 高橋競, Unyaporn Suthutvoravut, 吉澤裕世, 藤崎万裕, 西本美紗, 秋下雅弘, 飯島勝矢.

第2回日本老年薬学会学術大会最優秀演題賞.

地域高齢者の『多剤併用 (Polypharmacy)』はサルコペニア新規発症リスクを高める: 柏スタディー.

第2回日本老年薬学会学術大会, 東京都 都市センターホテル, 2018年5月12日-13日.

城内愛, 成瀬昂, 寺本千恵, 岩崎りほ, 山本則子.

日本地域看護学会第21回学術集会 優秀ポスター賞.

精神療養病棟の病棟看護管理者の特性と在院日数の関連.

日本地域看護学会第21回学術集会, 岐阜県 長良川国際会議場, 2018年8月11日-12日.

山本なつ紀, 成瀬昂, 藤崎万裕, 山本則子.

日本地域看護学会第21回学術集会 優秀ポスター賞.

訪問看護事業所における「利用者の安全に関わる出来事」の発生実態.

日本地域看護学会第21回学術集会, 岐阜県 長良川国際会議場, 2018年8月11日-12日.

西本美紗, 田中友規, 高橋競, Suthutvoravut Unyaporn, 藤崎万裕, 吉澤裕世, 飯島勝矢.

第25回日本未病システム学会学術総会最優秀演題賞.

オーラルフレイルの地域在住高齢者は食事の満足感や口腔関連 QOL が低い—柏スタディーより—.

第25回日本未病システム学会学術総会, 東京都 一橋講堂, 2018年10月27日-28日.

3 研究活動

(1) 地域看護学教室・高齢者在宅長期ケア看護学教室合同勉強会
 日程（毎週火曜日） 前期 2018/4/10～7/17 後期 2018/9/4～2019/2/26
 教室員の研究計画および最新研究トピックのディスカッション

参加者：

<地域看護学教室> 成瀬, 寺本, 岩崎, 藤崎, 本田, 角川, 永見, 鈴木, 横堀, 次郎丸, 天野, 角野

<高齢者在宅長期ケア看護学教室> 山本, 五十嵐, 野口, 二宮, Zhang, 澁田, 斎藤, 堀抜, 二見, Sameh, Dianis, 北村, 姉崎, 稲垣, 高岡, 小林, 矢坂, 増田, 久貝, 安藤, 丸山, 鳥本, 大貫, 吉田

教科書：なし（配布資料のみ）

前期：2018年4月10日～7月17日

日程	内容	担当者
4月10日	初回オリエンテーション 博士論文進捗	五十嵐 堀抜
4月17日	オリエンテーション 修士論文進捗 ジャーナル・クリティーク	山本 姉崎・横堀 北村
4月24日	修士論文進捗	永見・鈴木・高岡
5月8日	修士論文進捗 博士論文進捗 ジャーナル・クリティーク	稲垣 本田 次郎丸
5月15日	博士論文進捗 ジャーナル・クリティーク	斎藤・澁田 久貝
5月22日	博士論文進捗 ジャーナル・クリティーク	Dianis・角川 増田
5月29日	博士論文進捗 ジャーナル・クリティーク	北村・Sameh 小林
6月5日	修士論文進捗 研究活動報告 ジャーナル・クリティーク	小林 Zhang 矢坂
6月12日	修士論文進捗	高岡・次郎丸・久貝
6月19日	修士論文進捗	稲垣・久貝・矢坂
6月26日	修士論文進捗 ジャーナル・クリティーク	姉崎・鈴木 角川

7月3日	修士論文進捗 ジャーナル・クリティーク	永見・横堀 Dianis
7月10日	博士論文進捗	斎藤・本田
7月17日	博士論文進捗 修士論文進捗 研究活動報告	澁田 稲垣 鳥本・大貫

後期：2018年9月4日～2019年2月26日

日程	内容	担当者
9月4日	修士論文進捗 博士論文進捗	鈴木・横堀 Sameh
9月11日	修士論文進捗	姉崎・高岡・稲垣・永見
9月18日	修士論文進捗	次郎丸・矢坂・久貝
9月25日	博士論文進捗	斎藤・堀抜
10月2日	修士論文進捗 博士論文進捗	小林・増田 本田
10月9日	博士論文進捗 ジャーナル・クリティーク	角川・澁田 小林
10月16日	修士論文進捗 ジャーナル・クリティーク	鈴木・横堀・永見 増田
10月23日	修士論文進捗 ジャーナル・クリティーク	姉崎・稲垣 Zhang
10月30日	修士論文進捗 留学報告 研究活動報告 ジャーナル・クリティーク	高岡 二見 丸山 次郎丸
11月6日	博士論文進捗 研究活動報告 ジャーナル・クリティーク	北村 二宮・丸山 矢坂
11月20日	修士論文進捗 卒業論文進捗	姉崎 角野
11月27日	卒業論文進捗	天野・安藤
12月4日	修士論文進捗	横堀・鈴木
12月11日	修士論文進捗	高岡・永見
12月18日	修士論文進捗 研究活動報告	稲垣 吉田

2019 年		
1 月 15 日	修士論文発表練習	姉崎・稲垣・高岡・横堀
1 月 22 日	修士論文発表練習	姉崎・稲垣・高岡・横堀
1 月 29 日	卒業論文発表練習	天野・安藤・角野
2 月 12 日	修士論文進捗	次郎丸・増田・久貝
2 月 19 日	修士論文進捗 博士論文進捗	小林・矢坂 北村
2 月 26 日	博士論文進捗	二見・角川・Sameh

(2) 研究会

	日程	講師およびテーマ (敬称略)
第241回	2018年 4月20日	山本なつ紀 (東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻地域看護学分野 博士課程修了生) 「訪問看護事業所における『利用者の安全に関わる出来事 (CSI)』の定義・枠組みの明確化と他職種への情報共有に関連する要因の検討」
第242回	6月1日	上野昌江 (大阪府立大学大学院看護学研究科 地域看護学) 「支援が必要な母親へ保健師が行う妊娠期からの支援」
第243回	7月6日	渡井いずみ (名古屋大学大学院 健康発達看護学講座) 「産業保健における昨今の動向と研究」
第244回	8月3日	松永篤志 (東北大学大学院医学系研究科 保健学専攻基礎・健康開発看護学講座地域ケアシステム看護学分野) ＜平成30年度 博士論文発表＞ 「東日本大震災で自宅を失った高齢者の“この先”を新しく描き始める経験に関する質的研究」
第245回	9月11日	Margaret Wallhagen (University of California San Francisco) 「Quality Improvement Research vs. “Standard Research” - What are the benefits for Community Health?」
第246回	11月3日 -4日	山本則子他 (東京大学大学院医学系研究科 高齢者在宅長期ケア看護学分野) 「ケアの意味をみつめる事例研究セミナー・発表会」
第247回	11月28日	島津太一 (国立研究開発法人 国立がん研究センター 社会と健康研究センター 予防研究部) 「Dissemination & Implementation (D&I) 研究：効果が実証された介入を普及・実装させるための研究」
第248回	2019年 1月11日	迎美保 (東京学芸大学附属小金井小学校 臨床心理士) 「発達障がいのある子どもとこれから」
第249回	2月20日	Sally Thorne (ブリティッシュ・コロンビア大学) 「Interpretive Description: Development」
第250回	3月22日	Patricia A. Grady (元 National Institute of Nursing Research (NINR)ディレクター) 「Future Outlook in Nursing Research」

(3) 研究プロジェクト

成瀬昂.

平成 29-30 年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 若手研究(B).
地域包括ケアシステムにおける通所介護サービスの新たなマーケティング市場の
探索.

岩崎りほ.

平成 29-32 年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 若手研究(B).
人口減少社会における小規模市町村保健師育成の新たな現任教育モデルの開発と
検証.

寺本千恵.

平成 29-30 年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金(研究活動スタート支援)).
訪問診療を利用している患者の救急受診の実態と再受診予防プログラムの検討.

藤崎万裕.

平成 28-30 年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金(研究活動スタート支援)).
フレイル予防サポーターの参加動機による類型化と活動継続要因.

平井和明, 岩崎りほ.

平成 29-32 年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C).
犯罪被害者へのアウトリーチ支援体制モデルの構築.

永見悠加里, 成瀬昂, 野口麻衣子, 藤崎万裕.

公益財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団 平成 30 年
度助成事業費.

訪問看護に特有な職場環境と訪問看護師の就業継続意向との関連
—訪問における時間的プレッシャーに焦点を当てて—.

(4) 教室内勉強会

地域看護学教室勉強会（2018年4月9日～2019年1月10日）

教室員の研究計画および最新研究トピックのディスカッション

参加者：

成瀬，寺本，岩崎，藤崎，本田，角川，永見，鈴木，横堀，次郎丸，天野，角野

教科書：なし（配布資料のみ）

日程	内容	担当者
4月9日	オリエンテーション	成瀬
	海外視察報告	寺本
4月23日	修士論文進捗	横堀
	ジャーナル・クリティーク	次郎丸
5月14日	ジャーナル・クリティーク	寺本
	博士論文進捗	鈴木
	研究相談	永見
5月28日	ジャーナル・クリティーク	横堀
	研究相談	岩崎
	研究相談	成瀬
6月11日	研究相談	角川
	修士論文進捗	次郎丸
	ジャーナル・クリティーク	鈴木
6月25日	修士論文進捗	横堀
7月3日	勉強会	角川
7月9日	研究進捗発表	寺本
	ジャーナル・クリティーク	岩崎
	研究相談	天野
	修士論文相談	永見
	研究相談	角野
10月1日	研究相談	藤崎
2019年		
1月10日	卒論進捗・相談	角野
	研究相談	天野

看護系助教自主勉強会「看護実習を共に学ぶ会」(2018年4月27日～7月23日)

看護学の学生と教育の実習モチベーションおよび実習成果を高めるため、授業・演習・実習の一連の教授活動について学ぶ。

参加者：寺本，岩崎，藤崎，米澤かおり（母性・助産学），市川奈央子・木田亮平（看護管理学），北村言（老年看護学/創傷看護学），野口麻衣子（高齢者在宅長期ケア看護学/緩和ケア看護学），稲垣晃子（精神看護学）

教科書：

- ・糸賀暢子，元田貴子，西岡加名恵 著. 看護教育のためのパフォーマンス評価：ルーブリック作成からカリキュラム設計へ. (株)医学書院，2018.

日程	内容	担当者
4月27日	看護学教育モデル・コア・カリキュラム	寺本
5月25日	実習関連書類の調査	各教室 代表者
6月25日	看護学教育のためのパフォーマンス評価：第1章	北村
7月23日	看護学教育のためのパフォーマンス評価：第8章	藤崎

Interpretive Description の輪読会 (2019 年 1 月 28 日～2 月 14 日)

Sally Thorne 博士の Interpretive Description を輪読し、参加者でディスカッションをした。

参加者：山本，成瀬，寺本，岩崎，藤崎，角川，野口麻衣子（高齢者在宅長期ケア看護学）

教科書：

- Sally Thorne. INTERPRETIVE DESCRIPTION QUALITATIVE RESEARCH FOR APPLIED PRACTICE SECOND EDITION. New York and London. Routledge Taylor & Francis Group, 2016.

日程	内容	担当者
1 月 28 日	Chapter1. Qualitative Research in the Applied Disciplines	岩崎
	Chapter2. Cultivating Questions in the Applied Practice Field	成瀬
	Chapter3. Scaffolding a Study	寺本
	Chapter4. Framing a Study Design	寺本
1 月 31 日	Chapter5. Strategizing a Creditable Study	藤崎
	Chapter6. Entering the field	成瀬
	Chapter7. Constructing Data	岩崎
2 月 6 日	Chapter8. Working Data	山本
	Chapter9. Transforming Data	山本
	Chapter10. Writing Findings	岩崎
2 月 13 日	Chapter11. Interpreting Meaning	野口
	Chapter12. Enhancing Credibility	野口
	Chapter13. Disseminating Findings	寺本
2 月 14 日	Chapter14. Advancing Evidence with Interpretive Description	藤崎
	Chapter15. Building, Aggregating, and Synthesizing	岩崎
	Chapter16. Knowledge Integration	成瀬

NINR の歴史についての輪読会 (2019 年 3 月 4 日、6 日)

National Institute of Nursing Research (NINR)の歴史について学ぶ。

参加者：成瀬，寺本，岩崎，藤崎

教科書：

・ NINR History Book

https://www.ninr.nih.gov/sites/files/docs/NINR_History_Book_508.pdf

日程	内容	担当者
3 月 4 日	Preface: The National Institute of Nursing Research at NIH: Celebrating Twenty-five Years of Nursing Science	成瀬
	Chapter1: Origins of the National Institute of Nursing Research	藤崎
	Chapter2: Launching Nursing Science at NIH	寺本
	Chapter3: From Center to Institute: Nursing Comes of Age	寺本
3 月 6 日	Chapter4: From Nursing Research to Nursing Science	寺本
	Chapter5: Speaking the Language of Science	岩崎
	Epilogue: The Transformation of Nursing Science	成瀬

4 教育活動

(1) 学部講義

1) 地域看護学 4年前期 (2単位)

担当教員：成瀬昂・寺本千恵・岩崎りほ・藤崎万裕／東京大学地域看護学教室
氏原将奈／東京医療保健大学医療保健学部看護学科地域看護学領域
木内恵美／文京区保健サービスセンター 保健師
小西かおる／大阪大学大学院医学系研究科
地域ヘルスケアシステム科学研究室
佐藤幸子／豊島区高齢者福祉課介護予防・認知症対策グループ
保健師
村山亜矢子／株式会社日立国際電気 保健師

日程： 2018年4月5日～5月24日 木曜日 1,2限(一部3,4限)

内容： 地域看護学は地域で生活している個人，家族，特定集団を対象に、健康増進，疾病の予防と回復，日常生活や社会生活への適応を図るための支援方法を探求する学問である。そのための対象論と方法論について講義する。内容としては，地域看護の概念・機能，地域看護の発展過程，地域看護活動の対象・場の特性，地域看護診断の方法と地域看護活動の実際などである。

日程	時限	講義題目	担当
4月5日 (木)	1,2限	地域看護学総論 地域看護職の職場と機能	成瀬・岩崎
4月19日 (木)	1,2限	産業保健活動	村山
4月19日 (木)	3,4限	災害時の保健活動・危機管理	寺本
4月26日 (木)	1,2限	難病支援	小西
5月10日 (木)	1,2限	母子保健活動	木内
5月17日 (木)	1,2限	精神保健・自殺予防対策	氏原
5月24日 (木)	1,2限	高齢者支援・まとめ	佐藤・岩崎

2) 在宅看護論 3年後期 (2単位)

担当教員：成瀬昂・寺本千恵・岩崎りほ・藤崎万裕／東京大学地域看護学教室
 岩本大希／ウィル訪問看護ステーション江戸川
 角田直枝／茨城県立中央病院、茨城県地域がんセンター
 萱間真美／聖路加国際大学精神看護学
 永田智子／慶應義塾大学看護医療学部
 山本則子／高齢者在宅長期ケア・緩和ケア看護学教室

日程： 2018年10月12日(金)、12月14日(金)
 2019年1月11日(金)、1月25日(金)

内容： 在宅療養者を取りまく社会状況や保健医療福祉のしくみを理解すること。そのために、在宅療養者の生活や健康上の問題に対する個別的・家族的アプローチの方法、ケアプランの組み方、ケアの提供方法、ケアシステムなどに関する講義を行う。

日程	時限	講義題目	担当
10月12日(金)	1,2限	在宅看護学総論 保健師活動について	成瀬
10月12日(金)	3,4限	ケアマネジメント・在宅での看護展開	成瀬
12月14日(金)	1限	住民組織活動の見学演習	藤崎・寺本
12月14日(金)	3,4限	Inter Professional Education(IPE)	山本
1月11日(金)	2限	訪問看護の対象者：個別事例(小児) 訪問看護事業所の経営	岩本
1月11日(金)	3,4限	訪問看護の対象者：個別事例(終末期)	角田
1月25日(金)	1,2限	退院支援	永田
1月25日(金)	3,4限	訪問看護の対象者：個別事例(精神)	萱間

3) 救急処置

対象：健康総合科学科 3年生

日程：2018年4月10日

内容：救急医療と災害時の医療システム(寺本)

日程：2018年5月8日

内容：外傷・熱傷、急性中毒、アナフィラキシー、熱中症(寺本)

4) 初年次ゼミ

対象：駒場学生 1年生

日程：2018年4月11日～7月11日 水曜日 計12回

講師：成瀬ほか

5) 生きることを支える科学：看護学の最先端

対象：駒場学生

日程：2018年6月21日

内容：まちづくりで暮らしを支える（成瀬）

6) 看護学概論Ⅱ—社会で活躍する看護プロフェッショナル—

対象：駒場学生

日程：2018年10月11日

内容：災害時の保健活動（寺本）

7) 健康総合科学概論

対象：健康総合科学科 2年生

日程：2018年11月8日

内容：保健師という仕事とまちづくり（成瀬）

8) 公共健康科学統合講義Ⅰ

対象：健康総合科学科 2年生

日程：2019年1月11日

内容：地域保健（成瀬）

(2) 学部実習

[4年生] 在宅看護学実習

実習日程 : 2018年8月27日(月)～9月7日(金)

実習報告会 : 2018年8月31日(金)、9月7日(金)

実習施設 :

①訪問看護ステーション(4日)

上野訪問看護ステーション (2名)

訪問看護ステーションけせら (2名)

小石川医師会訪問看護ステーション (4名)

龍岡訪問看護ステーション (2名)

リーベ訪問看護リハビリステーション (4名)

[3年生] 在宅看護学実習

実習日程 : 2018年11月2日、11月9日、11月30日、12月7日

実習報告会 : 2018年12月25日

実習施設 :

- ①訪問看護ステーション (2日)
 - 上野訪問看護ステーション (4名)
 - リーベ訪問看護リハビリステーション (2名)
- ②地域包括支援センター (1日)
 - 高齢者あんしん相談センター本富士 (2名)
 - 高齢者あんしん相談センター駒込 (4名)
- ③通所介護 (1日)
 - 文京昭和高齢者在宅サービスセンター (6名)

(3) 大学院特論

1) 地域看護学特論 I

担当教員：成瀬昂・寺本千恵・岩崎りほ・藤崎万裕／東京大学地域看護学教室
小林小百合／駒沢女子大学看護学部看護学科
田上豊／埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科

日程： 2018年6月5日～7月17日 火曜日 3,4限

内容： 地域看護学の理論・実践・研究について修士レベルの教科書を使いながら学ぶと共に、地域看護活動の方法論の一つである地域組織活動の理論と応用を学ぶ。
公衆衛生看護学の歴史、世界の動向、基盤となる概念を学ぶ。コミュニティの健康課題を明確化する方策、および、課題解決に向けた活動方法について学ぶ。

日程	時限	講義題目	担当
6月5日	(火) 3,4限	オリエンテーション・概論・次回以降の準備	成瀬
6月12日	(火) 3,4限	①文献レビューの目的と方法 ②プレゼンテーションの目的と方法	成瀬
6月19日	(火) 3,4限	公衆衛生看護学総論 コミュニティアズパートナーモデル①輪読	成瀬
6月26日	(火) 3,4限	コミュニティアズパートナーモデル②輪読	成瀬
7月3日	(火) 3,4限	コミュニティアズパートナーモデル③輪読	成瀬
7月10日	(火) 3,4限	エスノグラフィー法を使った研究	小林
7月17日	(火) 3,4限	在宅ケアシステムの現状とこれまでの経緯	田上

2) 地域看護学特論Ⅱ

担当教員：成瀬昂・寺本千恵・岩崎りほ・藤崎万裕／東京大学地域看護学教室
飯坂真司／淑徳大学看護栄養学部栄養学科
山本則子／高齢者在宅長期ケア・緩和ケア看護学教室

日程： 2018年9月11日～10月30日 火曜日 3,4限

内容： 地域看護学のトピックス及び方法論について、講義と輪読を通して学ぶ。

日程	時限	講義題目	担当
9月11日	(火) 3,4限	Health care Service and Use Special lecture: Margaret Wallhagen	山本
9月18日	(火) 3,4限	輪読①	藤崎
9月25日	(火) 3,4限	輪読②	藤崎
10月2日	(火) 3,4限	輪読③	藤崎
10月9日	(火) 3,4限	介護予防・フレイル予防研究	飯坂
10月16日	(火) 3,4限	実践的研究・CBPR	成瀬
10月30日	(火) 3,4限	Mixed Method Research・まとめ	藤崎

3) 支援技術論 I (保健師教育科目)

担当教員：成瀬昂・寺本千恵・岩崎りほ・藤崎万裕／東京大学地域看護学教室
 蔭山正子／大阪大学大学院公衆衛生看護学研究室
 木内恵美／文京区保健サービスセンター 保健師
 小西かおる／大阪大学大学院医学系研究科
 地域ヘルスケアシステム科学研究室
 佐藤幸子／豊島区高齢者福祉課介護予防・認知症対策グループ保健師
 村山亜矢子／株式会社日立国際電気 保健師
 佐藤伊織／家族看護学教室

日程： 2018年4月5日～5月24日 木曜日 1,2限

内容： 地域住民への個別指導・集団指導を行う際の知識と技術を習得することを目的とする。特に、対人支援技術（信頼関係の構築、家庭訪問、健康診査、健康相談、健康教育、ケースマネジメント、グループ支援）に焦点を当てる。

日程	時限	講義題目	担当
4月5日 (木)	1,2限	支援技術論総論・行政保健師の配置と役割	成瀬・岩崎
4月12日 (木)	1,2限	家族を単位とした支援の方法と理論	佐藤伊織
4月19日 (木)	1,2限	ライフステージに応じた保健師の支援技術：産業保健	村山
4月26日 (木)	1,2限	健康課題や特定集団への保健師の支援技術：難病	小西
5月10日 (木)	1,2限	健康課題に応じた保健師による支援技術：母子保健	木内
5月17日 (木)	1,2限	保健師によるグループ支援の技術	蔭山
5月24日 (木)	1,2限	ライフステージに応じた保健師の支援技術：高齢者保健	佐藤幸子 岩崎

4) 支援技術論Ⅱ（保健師教育科目）

担当教員：成瀬昂・寺本千恵・岩崎りほ・藤崎万裕／東京大学地域看護学教室
 荒木田美香子／国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科
 安齋由貴子／宮城大学看護学部
 大木幸子／杏林大学保健学部看護学科
 蔭山正子／大阪大学大学院公衆衛生看護学研究室

日程： 2018年5月31日～7月12日 木曜日 3,4限

内容： 地域住民への個別指導・集団指導を行う際の知識と技術を習得することを目的とする。具体的には、ライフステージ別（母子・成人・高齢者等）、健康課題別（難病・精神・感染症等）、集団別（障がい者・マイノリティ等）にみた健康問題の根拠法令、支援システム、具体的な活動を学ぶ。

日程	時限	講義題目	担当
5月31日	(木) 3,4限	健康課題に応じた保健師による支援技術：感染症	大木
6月7日	(木) 3,4限	健康課題に応じた保健師による支援技術：精神保健、障がい	蔭山
6月14日	(木) 3,4限	保健師による施策化・システムの構築の基礎となる概念と支援技術	安齋
6月21日	(木) 3,4限	集団健康教育の理論と実践	荒木田
6月28日	(木) 3,4限	災害時の保健活動・危機管理	寺本
7月5日	(木) 3,4限	保健師による個別支援技術：家庭訪問、面接、電話等	岩崎
7月12日	(木) 3,4限	スクリーニング技術	岩崎

5) 公衆衛生看護学 I (保健師教育科目)

担当教員：成瀬昂・寺本千恵・岩崎りほ・藤崎万裕／東京大学地域看護学教室
五十嵐千代／東京工科大学医療保健学部看護学科
・産業保健実践研究センター

日程： 2018年4月10日～5月22日 火曜日 3,4限

内容： 公衆衛生看護学の歴史、世界の動向、基盤となる概念を学ぶ。コミュニティの健康課題を明確化する方策、および、課題解決に向けた活動方法について学ぶ。

日程	時限	講義題目	担当
4月10日 (火)	3,4限	前年度のA自治体の地域診断	成瀬・岩崎
4月17日 (火)	3,4限	地域診断の方法論： 情報収集と分析 (GIS・観察・インタビュー)	成瀬・岩崎
4月24日 (火)	3,4限	地域踏査：A自治体	岩崎
5月1日 (火)	3,4限	地域の課題解決演習 (インタビュー)： A自治体	成瀬
5月8日 (火)	3,4限	地域課題解決演習 (情報収集・地区踏査)： A自治体	成瀬
5月15日 (火)	3,4限	地域診断演習 (情報収集・地区踏査)： B自治体	成瀬
5月22日 (火)	3,4限	産業保健概論	五十嵐

6) 公衆衛生看護学Ⅱ（保健師教育科目）

担当教員：成瀬昂・寺本千恵・岩崎りほ・藤崎万裕／東京大学地域看護学教室
 麻原きよみ／聖路加国際大学地域看護学
 五十嵐千代／東京工科大学医療保健学部看護学科
 ・産業保健実践研究センター

日程： 2018年5月30日～7月11日 水曜日 1,2限(一部3,4限)

内容： 公衆衛生看護学の倫理、基盤となる概念を学ぶ。コミュニティの健康課題を明確化する方策、および、課題解決に向けた活動方法について学ぶ。

日程	時限	講義題目	担当
5月30日 (水)	1,2限	地域診断の方法論：演習（地区踏査）	成瀬
6月6日 (水)	1,2限	地域診断の方法論： 情報収集と分析（情報の再分析と統合）	成瀬
6月13日 (水)	3,4限	地域診断の方法論：演習（分析と統合）	成瀬
6月20日 (水)	1,2限	産業保健看護活動論：個別支援の理論と実際	五十嵐
6月27日 (水)	1,2限	保健師活動における倫理	麻原
7月4日 (水)	1,2限	地域診断の方法論：二地区の地域課題解決演	成瀬
7月11日 (水)	1,2限	習・地域診断演習発表準備・発表	成瀬

7) 行政看護学特論（保健師教育科目）

担当教員：成瀬昂・寺本千恵・岩崎りほ・藤崎万裕／東京大学地域看護学教室

大木幸子／杏林大学保健学部看護学科

小堀由祈子／世田谷区保健福祉部

山本由加里／東京医療保健大学医療保健学部

看護学科地域看護学領域

吉岡京子／国立保健医療科学院生涯健康研究部

島内明文／東京大学大学院医学系研究科医療倫理学分野

吉田修馬／東京大学大学院医学系研究科医療倫理学分野

日程： 2018年9月10日～10月17日 水曜日 1,2限（変則日時あり）

内容： 健康政策や公衆衛生看護実践に関わる倫理的問題を議論する能力を養うと共に、事業化・施策化やリーダーシップに関する実践的能力を養うことを目的とする。具体的には、専門的知識を学び、批判的思考力を養うため課題やディスカッションに取り組む。

日程	時限	講義題目	担当
9月10日（月）	1,2限	公衆衛生看護と公共論	大木
9月12日（水）	1,2限	ハンセン病・公害（見学）	成瀬
9月19日（水）	1,2限	公正性、保健医療福祉行政・財政の理念としくみ	成瀬・岩崎
9月26日（水）	1,2限	行政保健師として働くことの魅力	小堀
10月3日（水）	1,2限	行政機関における健康政策：施策化、評価	吉岡
10月10日（水）	1,2限	公衆衛生看護における倫理：理論	島内・吉田・山本
10月17日（水）	1,2限	行政保健師の仕事と課題	成瀬・岩崎

- (4) 大学院実習
 - 1) 公衆衛生看護学実習Ⅰ
継続実習：公衆衛生看護学実習Ⅱ終了後
実習施設：文京区保健サービスセンター
 - 2) 公衆衛生看護学実習Ⅱ
2018年11月19日（月）～12月14日（金）
実習施設：文京区保健サービスセンター
実習報告会：2019年2月18日（月）

- (5) 大学院演習
 - 1) 産業保健に関する演習
演習施設：株式会社アルビオン
 - 2) 地域診断に関する演習
演習施設：福岡県糸島市

- (6) 活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム大学院
講義
 - 1) 高齢社会総合研究学特論Ⅳ（高齢社会のケア・サポート・システム）
2018年7月12日 地域アセスメントに基づく地域づくり（成瀬）

(7) 卒業論文

天野萌（指導教員：成瀬昂）

就学に至るまでの専門機関との関わりに対する自閉症スペクトラム児保護者の受け止め.

角野香織（指導教員：成瀬昂，岩崎りほ）

農村部における中年期国民健康保険被保険者の健康診査・診断受診の背景：質的研究.

(8) 修士論文

永見悠加里（指導教員：山本則子）

職務関連負担感および管理者のサポートと訪問看護師の就業継続意向との関連：横断研究.

横堀花佳（指導教員：山本則子）

Public health nurses' activities toward child abuse prevention for pregnant women and their family.

(妊娠期の家族を対象とした保健師の児童虐待予防活動).

(9) 博士論文

松永篤志（指導教員：山本則子）

東日本大震災で自宅を失った高齢者の“この先”を新しく描き始める経験に関する質的研究.

本田千可子（指導教員：山本則子）

母親学級を用いた乳児の傷害予防教育プログラムの開発：非ランダム化比較試験による効果の検証.

5 学内での活動

(1) 看護系教室役割分担

寺本千恵

看護学実習要綱作成担当

2018年4月～

(2) 教室内での役割分担

合同研究会	成瀬昂	鈴木秀	角川由香	
教室勉強会	岩崎りほ	鈴木秀	角川由香	
教室研究会	藤崎万裕	永見悠加里	角川由香	
親睦会	岩崎りほ	横堀花佳	次郎丸奈美	角川由香
PC (ネットワーク管理)・フェイスブック	寺本千恵	横堀花佳	次郎丸奈美	角川由香

6 学会における活動

成瀬昂

日本在宅ケア学会

査読委員

2017年9月～

日本看護科学学会

査読委員

2015年10月～

日本公衆衛生学会日本地域看護学会

公衆衛生看護のあり方に関する委員会委員

2017年10月～

日本公衆衛生学会

査読委員

2018年2月～

日本健康学会

編集委員

2017年10月～

寺本千恵

日本看護科学学会

災害看護支援委員会委員

2017年11月～

7 社会的活動

成瀬昂

Wyl 株式会社
アナリスト

2017 年 12 月～

岩崎りほ

広島県呉市医療ボランティア

2018 年 8 月 13 日～14 日

藤崎万裕

千葉県柏市福祉政策課
非常勤職員（保健師）

2018 年 4 月～

社会貢献プログラム「東京大学ふみのみやこ倶楽部」

内容：地域看護学教室に所属する教室員・学生が、文京区と協働して行う社会貢献プログラム。教員・大学院生による健康に関する講話と文の京介護予防体操を行う。

プログラムのねらい・目的：文京区在住高齢者が、東京大学ふみのみやこ倶楽部に参加することで、フレイル予防（運動・栄養・社会参加）を自分ごと化でき、実践できるようになる。

日程	内容	担当者
10月12日	東京大学ふみのみやこ倶楽部 健康講話①「フレイルについて知る（自分ごと化）」	藤崎
11月9日	健康講話②「お口の健康、オーラルフレイル」	次郎丸
12月10日	健康講話③「ソーシャルフレイルとまとめ」	次郎丸

8 教室日誌

2018年	
4月3日	高齢者在宅長期ケア看護学分野との合同ウェルカムランチ (研究室)
8月1日	夏の大掃除
8月3日	納涼会 (本郷「BISTRO KOUZO」)
9月6日～12日	Margaret Wakkhagen 先生特別講義
9月21日	Anrhony G Tuckett 先生特別講義
12月17日	高齢者在宅長期ケア看護学分野との合同忘年会 (本郷「ちどり亭」)
2019年	
3月20日	年度末大掃除
3月25日	高齢者在宅長期ケア看護学分野との合同送別会 (本郷「ねぎま 三ぞう 本郷三丁目店」)

9 教室員名簿(2018年度)

教授（兼担）	山本則子			
講師	成瀬昂			
非常勤講師	麻原きよみ 蔭山正子 角田直枝	安齋由貴子 田上豊	五十嵐千代 永田智子	大木幸子 吉岡京子
助教	寺本千恵	岩崎りほ		
特任助教（兼担）	藤崎万裕			
事務員	堀美奈子	山口千鶴子	竹田由美	中川みどり
大学院生（博士課程）	本田千可子 前田明里(休学中)	角川由香	松本博成(休学中) 城内愛(休学中)	
大学院生（修士課程）	永見悠加里	鈴木秀	横堀花佳	次郎丸奈美
卒論生	天野萌	角野香織		
客員研究員	栗原雄樹 横山由美	小林小百合	齋藤あや	土屋瑠見子
教室研究生	石川英里 茂寿枝 馬場千恵 水井翠	国井由生子 鈴木樹美 堀越直子 柳瀬裕貴	熊崎裕崇 戸村ひかり 松下はるゑ 山居優子	佐藤咲樹 中村友亮 松永篤志 吉羽久美